

ボランティア活動における留意事項

● 3つの密を避けましょう

① 換気の悪い
密閉空間



② 多数が集まる
密集場所



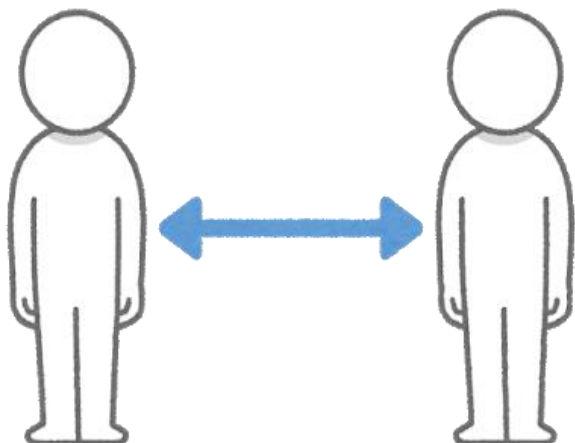
③ 間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

● 一人ひとりの基本的感染対策

① 身体的距離の確保 ② マスクの着用 ③ 手洗い・うがい



最低1m (できるだけ2mを目安に)

活動者であるあなたと、活動を受け入れるあなたが元気であること。

●活動実施で気をつけること

新しい生活様式と共に…

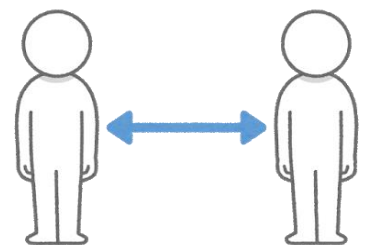


●健康管理の徹底

- 例) ・参加者に発熱、倦怠感のある人、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域へ訪問歴のある人がいないか確認
・ボランティア・スタッフの検温
・入館前の参加者の検温 (非接触型検温器等の導入等)

●咳エチケット等の徹底

- 例) ・マスク着用、手洗い、消毒の徹底



●3密の回避

- 例) ・定期的な換気の徹底 (30分に1回程度、出入口や窓の開放等)
・人と人との接触を避け、互いの距離を2メートル以上あけて活動
・近距離での会話、発声等を避ける



●その他

- 例) ・参加者全員の連絡先を確認する (ボランティア・スタッフ・当日参加者)
※情報については、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する旨を明記する
・活動終了後、使用した机・椅子・施設設備等の消毒の徹底

※本資料は、令和2年5月末時点での情報に基づき作成しています。(今後、感染症に関する状況推移により、その時々、国・大阪府・堺市等の発出内容に応じた判断が必要になることが想定されます)
※本資料については、今後、内容を追加・修正し、更新する場合があります。(更新版を発行する場合は、以下の日付表記を変更します)